



校長室だより 2

黒部市立荻生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年11月10日
5年度第21号

音楽科の県東部研究集会 大成功に終わる

去る7日（火）、富山県小学校教育課程研究集会「県東部音楽科（2年度）研究会」が本校で行われました。来賓・会員合わせて100名近くの先生方が荻生小学校に集まりました。

今回は、3年生「曲のかんじを生かそう」と5年生「日本の音階を使って、自分たちの曲を作ろう」の2つの授業を公開し、その後それぞれの事後協議が部会別に行われました。

3年生のこの日の授業は「にじ」の歌い方を工夫する学習でした。曲の途中で旋律が変化し、後半に曲の山が感じられることに気づき、歌い方の工夫につなげようとする子が多いようでした。どの子も自分一人でも堂々と楽しそうに歌い切る姿が素敵でした。学級全体の前向きな学習態度にも「感動した」という声が事後の協議会でよく聞かれました。

5年生は、前時までに各自が作った2小節の旋律を3人グループで組み合わせ、まとまりのある音楽を作ろうとする学習でした。「反復」を取り入れ、8小節の音楽に仕上げます。グループごとに、色分けした旋律カードをホワイトボード上で操作し、まとまりのあるつなげ方を考えました。その「話し合いながら音楽的に考える様子がよかった」という意見が協議会で出されていました。また、各自が自分の旋律を演奏するために卓上木琴を使ったのが「リコーダーへの苦手意識のある子にも取り組みやすく、今回の学習を進めるために効果的だった」と好評でした。

最後に体育館で行われた全体会では、富山県東部教育事務所指導主事の中田先生から、この2年間の本校の取組全体への講評をいただきました。「音楽への関心を高め、理解を深める学習環境が整えられている」「一人一人の思いを皆で共有する場と個人で学習を進める場とが上手く組み合わされている」「学んだことを生活に生かしていく視点がある」といった点を評価していただきました。2年間の少しずつの実践の積み重ねを再確認でき、嬉しく感じました。そして、これまでたくさんの皆さんにご指導やご協力をいただいたことに改めて感謝いたします。

インターン生さんとの素敵な出会い・ふれあい・学び

10月から、市内在住の大学3年生 米倉さんが毎週木曜日に本校でのインターンシップに来ています。その日の学校の実情に合わせて臨機応変に授業のサポート等をしてもらっています。近い将来教員になる夢をもち明るく子供に接している姿に、荻っ子も親しみをもって触れ合い、よい影響を受けています。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第21号への感想

年 児童名

10月の短歌「家族のこと」を全校から募集しました。入賞作を紹介します！

- 犬が来たかわいい子犬妹だ ぼくより先に大人になるな (6年Rさん)
- 毎日が笑ってばかり楽しいな今日はだれだろわらわせがかり (2年Mさん)
- 家族はねしんようできる安心だいっぱい話せるつらいことでも (3年Rさん)
- なつかしの写真出てきて笑みの出る なんと娘のかわいいことよ (職員室M先生)
- お父さん毎日いっしょにカナヘビをそだててくれる ぼくはしあわせ (2年Nさん)
- といくんがリズムにあわせ手をたたきかぞくみんなでにこにこえがお (1年Rさん)

今回は50首の短歌が集まりました。飼っている動物や大事にしているぬいぐるみのことを家族のように考えている歌が何首もありました。家族への感謝の気持ちや心配している気持ちを手紙のような短歌で伝えているものもありました。ひとりひとりの家庭での様子が感じられ、ほっこりしました。

11月のテーマは「朝」です。引き続き楽しんで短歌づくりに取り組んでくれることを願っています。

シリーズ「教室におじゃまします」11/9(木)2年算数教科の巻

九九の学習を始めている2年生。この日はまず宿題の2の段、5の段のプリントの答え合わせから。テンポよく進みます。その後、教科書でもう一度5の段の復習です。「10秒で言えるかな」と平野先生が子供のやる気を引き出しながら何回も挑戦させます。見事合格した子には自動車の免許証にそっくりな合格証がもらえるので、ますます本気になります。目をつぶって唱える子や指を折って何回も繰り返す子、思わず立ち上がって叫ぶ子など、練習スタイルはさまざまです。

その後は今日の本題、3の段の学習です。教科書には3連のプリンパックの絵が並び、子供が考えやすいようになっています。まずパックが1つで「 $3 \times 1 = 3$ 」これを子供たちは「1つ分×いくつ分」という考え方で理解していました。なるほど。その後は「 $3 \times 2 = 6$ 」「 $3 \times 3 = 9$ 」とノートにどんどん各自で書いていき、その後、3の段の九九練習でした。ここでも先生のリードに合わせて何回も何回も繰り返し口に出して慣れていく子供たちです。そのスピードがだんだん速くももしっかりついていっていました。皆で集中している教室の雰囲気は素敵でした。

最後に「かけられる数・かける数」の言葉について押さえました。3の段の場合、かけられる数は3、かける数は1～9となります。大事な言葉ですが、今の2年生には「簡単！」かな。



おまけの<ひとりごと> インターン生の米倉さんは、市内の別の小学校で教育実習をしたとのことでした。荻生小でのインターンは教育実習ではないので、特定の教室に張り付くわけではなく、その日その時間によっていろいろな学年の子供たちとふれあってもらっています。彼いわく荻っ子たちは「とても人懐っこく、親しく近付いてきてくれる」「子供同士のまとまりやつながりが感じられる」とのことです。勤務する木曜日は大休の「わんぱくタイム」、昼休みはロング(清掃なし)なので、他の曜日以上に楽しく遊んでいる子供たちの姿をみてもらっているからかもしれません。彼も思いきり子供と遊んでくれています。若い！

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。